

三月十五日 (晴れて風寒く夜臙)

桐の葉、まはぎ、雲雀、笛編輯所。夜筆記整理。

三月十六日 (曇で風寒い)

俳句世界、タニカンコ。六波羅蜜、實踐項目、生活規範。

三月十七日 (晴たり曇たり夜更けて月澄む)

絶對健康、めばね、無門。夜雜誌整理。

三月十八日 (晴れて暖かい)

山茶花、馬酔木。久し振で庭へ下りた。夜春水を牡丹へ。

三月十九日 (晴れて暖かい。烈風)

ホトトギス、俳句研究、眞理編輯部、鹿笛、國平。

午後は久し振で本門寺へ彼岸詣する。石段下の乞食翁が、黒犬を撫で乍ら櫛で梳いてゐる。つやつやした黒犬の美しい祕密が知れた。馬丁時代の太閤を思ひ出した。夜添削句評。夜更けて曇。

三月二十日 (晴れて暖かい。無風)

木屋。暖かで齒痛。毎日の疲労が持越して持續してゐる。夜眞理へ返事を。

三月二十一日 (晴れて暖かい中日)

俳句研究、牡丹、稻花、涼々子、草城、書留小包。

三月二十二日 (暖かい雨で明るい雨で落着く)

牡丹會、谷閑古、俳句研究編輯部。

三月二十三日 (雨よく降る)

讀書新聞、石狩、櫻、朝日學藝部、丈道和尚、あをきり速達。夜草城へ禮狀を。短冊其他。

三月二十四日 (薄曇)

俳人聯盟、國平、あをきり速達。夜添削句評。

三月二十五日 (薄曇後晴いろく)

夜もすがら胃痛吐氣で眩暈。晝あをきり選了して、本門寺山ポストへ。墓前の杉菜が午後の日に美しい。夕方東史來て明日句會行を決定する。玉藻例會、無門。

三月二十六日 (晴れて麗か)

玉藻社、ホトトギス發行所、玉藻、かつらぎ。あをきり句會、小合溜、春風嬉しい。

三月二十七日 (薄曇)

内外書籍、房子。草臥れ休みで句稿整理。

三月二十八日 (雨降つて落着く)

アルス、蘭の花、絲瓜、俳句研究書留。夕方、桂城、抱風子來、あをきり句評、其他文章口授筆記して貰ふ。

三月二十九日 (晴れて暖かい)

松竹。晝無門へ返事を。夜玉藻へ問答を。

三月三十日 (晴れて暖かい)

北支派遣、岡あづま。歴代名畫記、エネルギー、老子、ソクラテスの辯明其他いろく。二水か